

審議会会議録

審議会等の 名称	第2回 瑞穂市総合計画等評価審議会
開催日時	平成30年7月30日(月曜日) 午後6時00分から9時15分
開催場所	総合センター 第4会議室
議題	・「瑞穂市第2次総合計画」にもとづく事業評価(平成29年度実施分)について ・「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもとづく事業評価(平成29年度実施分)について
出席委員 欠席委員	出席委員 13名 畦地真太郎会長、浅野楔雄委員、大池義之委員 加木屋加緒里委員、川角玄委員、相浦良子委員 竹中哲夫委員、中林由紀子委員、広瀬英昭委員 三澤博敬委員、吉田明貴子委員、吉田敏之委員 渡邊昭博委員 欠席委員 2名 大森宗委員、小寺徹委員
公開・非公開 の区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	開 会 【事務局】 委員総数15名に対し過半数を超える13名の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。 本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により原則公開することを各委員に確認し了承を得た。(傍聴希望者無し) 議事「瑞穂市第2次総合計画」、「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の平成29年度実績の評価について 【会長】 事務局に対し評価方法について説明を求めた。 【事務局】 (資料1)(P1～P4)を用い評価方法について説明を行った。

【会長】

平成２９年度に実施した事業について順に担当課に説明を求めた。

「行政評価の充実と推進」について

【会長】

「行政評価の充実と推進」について担当課に説明を求めた

【財務情報課】

（資料３）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【Ａ委員】

平成２５年と平成２６年の経常収支比率は。

【財務情報課】

平成２５年が７８．１％、平成２６年が８３．８％である。

【Ａ委員】

経常収支比率の全国トップは４０％で、最低が１２０％と聞いているが、瑞穂市が目標数値を８０％とした理由は。

【財務情報課】

経常経費の中で、一番大きいのが扶助費、社会保障費、人件費の部分である。自主財源が１１１億円あり、その８０％の範囲で、経常経費を抑えたいとの考えからである。

【Ｂ委員】

下水道事業が執行された場合、財源に相当な負担がかかるのではないか。

【財務情報課】

現時点で下水道事業は、進捗していないので、財政の中で占める割合はない。今後も、経常経費を抑え、政策的に使える予算を確保していかないとけない。経常経費の削減に努力していく。

【Ｃ 委員】

説明資料（第三次瑞穂市行政改革大綱）の「ノウハウの無い業務の発生」とはどのような事を意味するか。

【財務情報課】

例えば、異常気象等による風水害の危機管理などである。

【Ｄ 委員】

自主財源と交付税が予算の財源だが、自主財源を増やす政策が必要ではないか。

【財務情報課】

近年、市税は微増だが、地方交付税は、合併の特典が年々減っている状況である。そのような危機感のあるなか、新しい財源として、ふるさと納税があり、年々寄付額を増加させる努力をしている。

【Ｃ 委員】

本事業の評価はどのように考えれば良いか。

【会長】

本事業には、総合計画上での数値目標の設定がなく、判断が難しいところだが、参考指標と、第３次行政改革大綱を作成したこと自体での成果で、評価をお願いしたい。

【Ｂ 委員】

事業の目標の設定の仕方について、低く設定すれば達成でき、高く設定すれば達成出来ない。そこで事務局は、評価点数を上げる為に、目標を低く設定して高い評価を得ているように感じる。これは行政のサボタージュである。北方町、大野町、本巣市と比べても瑞穂市はエアポケットの状態であり、この事を皆が分かっているか疑問に感じる。

【総合政策課】

事業の目標については、平成２８年３月に第２次総合計画を作成する際に設定した。この総合計画は、事務局だけで策定したものでなく、総合計画策定審議会をはじめ、多くの委員や市民と一緒に策定したものであり、事務局の点数かせぎの為に、目標を低く設定したのではない。

【B 委員】

実施計画と今回の評価とどのように結びつくのか。

【総合政策課】

今回の（資料３）事業実績評価のシートは、実施計画を基に作成しており、実施計画に対して実績を記載したものである。

【B 委員】

実施計画は、場合によっては、毎年見直すと書いてあるが。

【総合政策課】

実施計画は、本審議会の答申を得て、毎年見直している。

【会長】

「行政評価の充実と推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった１１票、有効とは言えない２票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「広域行政の推進」について

【会長】

「広域行政の推進」について担当課に説明を求めた

【総合政策課】

（資料３）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【B 委員】

広域連携は、国の指導で行っている政策だと思うが、安八町以外の他の市町村との連携も、ごみ焼却場や処理場等の問題もあると思うので、上手に連携し進めていただきたい。

【総合政策課】

どのような連携が出来るか、各課で検討を進めている。良いご意見があれば、ご教示願いたい。

【Ｂ 委員】

ギブアンドテイクが必要

【Ｅ 委員】

プロジェクト会議を分野別会議に再編とあるが、プロジェクト会議は、公共交通、福祉、産業、防災、教育という分野でよいか

【総合政策課】

平成２８年度、公共交通、福祉、産業、防災、教育の５分野で、プロジェクト会議として各市町の担当者が集まり、協力していける事項を一緒に考えた。平成２９年度になり５分野のプロジェクト会議は、分野別会議という名前に変わり、出来ることから取り組みを始めた。環境と健康の分野は平成２９年度に立ち上がったもので、まずはプロジェクト会議としての話し合いから進めている。

【会長】

「広域行政の推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった１２票、有効とは言えない１票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について

【会長】

「公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について担当課に説明を求めた

【総合政策課】

（資料３）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【Ｃ 委員】

４月から運行し、利用者はあるか。

【総合政策課】

定期券使用者は含めず、4月が1,237人、5月が1,262人である。

【C委員】

利用者は多いのか少ないのか。

【総合政策課】

他に参考とする路線がないので比較は出来ないが、運行実施者である名阪近鉄バスに確認したところ、運行したばかりであるが、それなりの人数ではないかとの回答を得ている。

【会長】

「公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった13票、有効とは言えない0票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「計画的な財政運営」について

【会長】

「計画的な財政運営」について担当課に説明を求めた

【財務情報課】

(資料3)を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【B委員】

何もやっていないので、市の財政が健全という見方はできないか。下水道事業等を行うと、財政が大変な事にならないか。

【財務情報課】

現在、指標に対する実績数値は非常に良い。下水道等のような事業は、計画的に基金を積み立てる事で対応している。

【D 委員】

庁舎建設事業は、基金を積み立て、物価や人件費が上昇する１０年後、２０年後とするより、金利が安い今実施したほうが、有利ではないか。

【財務情報課】

現在の予算において、必要となる経常経費がある中で、基金を積み立ててから実施するという方向性で進めている。

【副市長】

下水道事業は事業費の半分が補助金。残りが借金で、その借金の半分は交付税で返ってくる。下水道は大事業だが、ほとんどが国で財政を負担してくれる。また瑞穂市は、公共施設の耐震化がほとんど済んでおり、冷暖房も小中学校は全部終わっている。庁舎については、耐震化が完了しているので、基金の積み立てが完了するまでの１３年間、維持して使用する計画で進んでいる。

【E 委員】

財政の将来計画について、市の人口増加のピークがあり、その後減り続け、高齢者が増える事態となる想定であるが、平成３７年度に、現在よりも良い目標指標が設定されているが、目標達成の可能性はあるか。

【財務情報課】

企業誘致や雇用の創出により、達成できる計画と考えている。

【会長】

「計画的な財政運営」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった１１票、有効とは言えない２票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「新地方公会計制度の導入・推進」について

【会長】

「新地方公会計制度の導入・推進」について担当課に説明を求めた

【財務情報課】

（資料３）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【Ｃ委員】

公会計制度について、国が示している雛形はあるか。

【財務情報課】

雛形ではないが、実際に、バランスシートや行政コスト計算書が出来ている。

【Ｅ委員】

財務諸表及び固定資産台帳は、ホームページに公表されているか。

【財務情報課】

公表されている。

【Ａ委員】

３４９万３千円の事業費は、ランニングコストか。又は、システム開発費か。

【財務情報課】

公認会計士への業務支援委託費である。

【Ｂ委員】

わかりやすい予算書について、他の市町村の資料があると比較できるので、情報公開していただきたい。

【財務情報課】

他の市町村の資料を取り寄せる事が出来れば、提供する。

【Ｆ委員】

単式簿記が複式簿記になり企業会計を導入、企業会計のように見せるということは、先ほど比較の話がでたが、そのうちマスコミ等が公表のため調査すると思われ、外部の者が評価できる形ができたという意味で、本件は非常に有効なことと感じている。

【財務情報課】

今の地方公共団体の会計手法は、基本は単式簿記でやっている。そこを補完する意味で複式簿記が国から導入された。

【会長】

「新地方公会計制度の導入・推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった１２票、有効とは言えない１票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「行政サービスの情報化推進」について

【会長】

「行政サービスの情報化推進」について担当課に説明を求めた

【財務情報課、市民課】

（資料３）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【Ｇ委員】

子供子育てワンストップサービスを４月から運用開始したとあるが利用件数は。

【財務情報課】

本年度の実績は０件である。

【Ｇ委員】

保育のサービスの内容は何か。

【財務情報課】

入所の申請手続き、保育だと支給認定の申請、保育所施設等の利用申し込み、さらに保育施設等の現況届がある。このような手続きが、マイナンバーカードを持っている者が自宅のパソコンにＩＣカードの読み取り機を接続し申請ができる。

【Ｇ委員】

マイナンバーをカード化している割合は。

【財務情報課】

瑞穂市は3月1日時点で、5万3千981人のうち4千501人で8.3%である。全国での交付率は10.7%、岐阜県では8%となっている。

【E委員】

コンビニ交付サービスについての広報は。

【市民課】

瑞穂市広報、ホームページ、市民センター夜間窓口受付でのチラシ配布、個人番号カードの発行窓口での啓発活動を行っている。

【B委員】

高齢化社会になり、インターネットを見てもらえない。広報に毎月掲載するべきでは。

【市民課】

毎月広報に掲載している。

【会長】

「行政サービスの情報化推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった12票、有効とは言えない1票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

「一圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について

【会長】

「一圏域応援ステーション 穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について担当課に説明を求めた

【総合政策課】

（資料3）を用い実施した事業について説明を行った。

【会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【H委員】

空き店舗活用事業について、出店事業者の評価は。

【総合政策課】

昨年度12日間に5店舗が15回程度出店している。売り上げは合計15万から20万ほどであり、1回1万から2万ほどである。聞いている限りでは、1回4万ぐらいは売上げたい。何回も往復すると経費がかかるので滞在して販売したい。イベントも定期的にやってほしい等の意見があった。

【H委員】

情報発信について駅北口の掲示板をフレキシブルに使用することは可能か。

【総合政策課】

現在、ワイワイ会議で作成した「ほづみによってっみい」のマップが貼ってある。皆が寄りやすい駅北口掲示板を有効活用し、うまく情報発信していきたい。

【D委員】

駅前の商工業の活性化を謳っているが、住民主体で意識を改革していかないと無理だと思う。

【総合政策課】

地域の意識が希薄だという話も受けており、役所の方からアプローチしていく。

【D委員】

今の状態で中心市街地が駐車場になっており、店舗であれば、客は郊外店舗に行ってしまう。デベロッパーを巻き込んで考えていかないと、空き店舗を少し解消しただけでは商店街に望みがない。拠点化構想が今後どのようなようになっていくか理解できない。

【企画部長】

ワイワイ会議等で2年間意見を聞き、同様の意見も出ている。特には道路の問題や、駅北にバスが入れない問題、駅周辺の朝晩の渋滞問題等がある。そこで、まずは土地区画整理事業を念頭に置き、その中で地元の方々がそこに参加していただける方向で駅の魅力を発信しながら、ハード面とソフト面を両輪で進めていく。ソフト面を2年間進めてきたが、これからは、まちづくり計画素案を基にハード面の方に移行していく考えである。

【I委員】

ワイワイ会議は毎月開催か。

【総合政策課】

毎月２回開催している。

【Ⅰ委員】

子供たちが自分のまちについて考えていくことはとても大事なことです。ワイワイ会議に、子供たちを巻き込み、次世代に繋げていただきたい。また、夜市も狭い敷地の中で行っており、子供が道路へ飛び出す危険性もあるので、再度安全に関して気を付けていただきたい。

【Ⅱ委員】

古民家を借りる時に、金銭面で市は介入しているか。

【総合政策課】

民間同士の賃貸借契約について、市はお金を払う予定はない。ただし、拠点化構想の推進において、空き店舗活用事業として、駅前に出店する等の一定の条件のもと、初期投資や改修費の一部を補助できないか検討を進めている。

【Ⅲ委員】

鉄道の北と南を通過する大きな道路を抜くというような計画は。

【総合政策課】

地域の意見の中で、若干そのような意見はあったが、どちらかというと、生活道路にしたい、静かな道路にしたいとの意見が多い。

【Ⅳ委員】

構想を作ったのは大正解である。これを構想で終わらせることなく動かしていくには、用地の確保が必要。

【会長】

「一圏域応援ステーション—穂積駅圏域拠点化構想推進事業」について委員に評価結果の挙手を求めた。

【会長】

有効であった１２票、有効とは言えない１票

【会長】

「目標達成に有効であった」にて決する。

	その他議事等 <u>会議録について</u> 【事務局】 後日、郵送する為、修正事項等あれば連絡 <u>答申について</u> 【会長】 これまでの審議状況、評価結果を踏まえ、会長が答申案を作成し、各委員に確認を受けた後、答申を行うことを確認し、委員の了承を得た。 【会長】 閉会のあいさつ 閉 会
事務局 (担当課)	瑞穂市 企画部 総合政策課 TEL：058-327-4128 FAX：058-327-4103 e-mail：sougou@city.mizuho.lg.jp